

## 「Mieap 不活性化が胃癌の生物学的特性へ及ぼす影響について」

### ●研究の目的と意義：

本研究の目的は「Mieap がヒトの癌の病態にどのような影響を及ぼすか解明する」事です。上述の様に Mieap 遺伝子の異常は癌の悪性度に関わる事が示唆されていますが、ヒトの癌で Mieap がどのような関与をしているかはまだ分かっていません。そこで胃癌の病理組織標本を用いて Mieap 不活性化が癌の進展に果たす役割を検討します。具体的には Mieap 遺伝子の異常が病態（腫瘍の進行度、転移、化学療法への反応性、予後等）にどのような影響を及ぼすのか明らかにし、Mieap が早期診断、病態診断や予後の指標となり得るか検証します。本研究により癌の進展過程に Mieap が関与する事が明らかになれば、新たな治療法を開発できる可能性があります。さらに早期診断、病態把握、治療効果予測、予後の予測等臨床的に有用なマーカーとして Mieap が利用できる可能性があり、臨床的に意義深い結果が得られる事が期待されます。

### ●研究の対象：

琉球大学医学部附属病院において診療を受けた胃癌の患者さんから、（１）手術で切除した病気の部分の組織の残りなどの診療後の残余試料と、（２）病理診断や治療内容などの病気に関する臨床情報、の2 点を提供して頂き、本研究を行います。なお、病理学的検査に関する説明で、包括同意に同意してくださった方のみを対象といたします。ただし、この研究の対象になる方々であったとしても、下に書いてあります「本研究への利用お断りの連絡先」にお知らせいただいた方の残余試料や臨床情報は一切使いません。

### ●研究の方法：

病理組織標本は治療のために切除された胃癌組織の診療後の残りの部分です。従って患者さんがこれまで受けた診断や治療には全く影響を与えません。この病理組織標本を用いて Mieap 遺伝子の異常と胃癌の進行度、転移、化学療法への反応性、予後等の関連を検討します。この様に琉球大学医学部附属病院に保存された病理組織標本を用いる研究ですので、患者さんから新たに組織を採取したり、採血する等、患者さんに痛みを伴う操作は一切ありません。

### ●個人情報保護に関する配慮：

診療録には個人情報を含みますが、患者さん個人が特定されないやり方で情報を収集します。対象患者の方々の識別は、研究代表者の金城貴夫が責任を持って匿名化した上で管理しますので、個人情報が院外に出ることはありません。また、このホームページにおいて、研究について公開し、問い合わせに応じて、患者さん等からのご希望があれば、その方の病理組織標本と診療録は研究に利用しないようにします。

●照会先及び本研究への利用お断りの連絡先：

〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原207番地

琉球大学医学部保健学科生体検査学講座形態病理学分野 金城貴夫

TEL：098-895-1278、FAX：098-895-1434